

に改造する話が出ないものでもあるまい。殊に終戦後の  
苛烈な客観情勢は、かの壮大な建物と約四百萬円の基金  
とを、G・H・Qの新意圖によつて計畫された方面に使  
用されることはあり得ると豫感させたのであつた。

(三) 懇談　　コーエン氏か、協調會の性格を衝いて解散  
と希望し、その善後處置についての構案を示したことは、  
本誌に採録した通りである。これに對して添田會長  
は所見を述べ、余北床次内相の眞意を説明することになり、  
労働問題に関する協調會の事績を述べて、同氏が得て  
る情報の訂正を求めた。しかし同氏は「デスカツション  
はやめる、懇談の趣旨によつて考慮されることを希望す  
る」といし切つた。

協調會の處置は、コーエン労働課長が、コンスタンチ  
フ大尉の助言を得て、民間情報局企畫課ヒツクス中尉を  
主任とする調査と、調査課ホツク氏及び二世中釜氏によ  
る産報調査を基礎とし、スタンチフィールド氏を委員長  
とする労働調査委員團の意見を綜合し、G・H・Qとし  
ての最後の方針を決定したものと想像される。ヒツクス  
氏の意見や、ハシワール氏の發言権などは一切不明であ  
るか、コーエン氏の懇談にハシワール氏と立會わせたこ  
ところから見ると、有力な筋にあつたことは疑を容れぬ。  
役員講師執筆者等の民主的改革の促進、労働教育映画製  
作補助金の支出、また協調會館貸室申入れの承諾などが  
、ヒツクス氏やハシワール氏等の意圖の通りに運ばれて